



Minami-hatoba_1(Shirouyasu_Suzuki)

2010-06-03

9月に更にまた股関節を手術することになった。

昨日、慶應義塾大学病院の整形外科で、藤田医師の診察を受けて、9月に左股関節の人工関節置換手術を受けることになった。2月に股関節の手術を受けた右脚は、痛みも痺れもなくなかなり力が入るようになったが、どうも左脚がよくない。昨年10月の腰部脊柱管狭窄症の手術で、右脚の痛みと痺れは取れたが、左脚の痛みと痺れが残っていて、股関節も診断によれば変形症になっていて痛みがある。そこで、股関節を治してから、左脚の痺れと痛みの治療にかかるということで、股関節の手術が9月に予定されることになったのだった。

相変わらず一日の大半をベッドに寝てテレビを見るという生活をしている。寝ている分には、脚の痛みや痺れは苦にならないが、前立腺癌のホルモン療法の薬の副作用か、汗がひどいのと時折頭がカーツとなるのには閉口している。女性の更年期障害と同じ症状だという。それと、テレビを見続けているから、目がしょぼしょぼして本が読めない。

テレビは最近小嶋政権のW辞任で、皆さん右往左往しているのが面白い。刑事ものの「絶対零度」「おみやさん」「臨場」、連続ものの「チーム・バチスタ2」「同窓会」「水戸黄門」「タンブリング」「ヤンキー君とめがねちゃん」など、またNHKの「龍馬伝」「日本GO」なども見逃さないで見ている。

少なくとも、一年前、二年前では考えられない生活をしている。こんなざれごとの詩を書いた。

パンツ

脚が曲がらない
杖で横に広げて
孔、二つ
先ず左から
次に右
脚が通った

その人

近づいてきた
その人
志郎康さんですね
そうです
にこっと笑って
立ち去った
杖をついたまま
残った

13:55:35 - shirouyasu - 4 comments

Navigation

[Previous 月](#)
[Next 月](#)
[Today](#)
[Archives](#)
[Admin Area](#)

Categories

[All](#)
[General](#)

灰皿町の本

●[幻想小説『なめくじキーホルダー』](#) 清水鱗造

●[「週刊読書人」詩時評一九九二-一九九三年](#) 清水鱗造批評集 第二分冊

Search

Login

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

Powered by

